

# 世界一込み合う？渋谷スクランブル交差点 一日通行量 最大30万人

東京・渋谷駅前のスクランブル交差点が「イベント広場」になっている。近年、大きなイベントの度に大勢の若者が押し寄せ、訪日外国人にとっては人気の「観光地」に。交差点に魅了されるわけとは？

## 年越しの群集 警察が厳戒

年越しのカウントダウンの瞬間、数千人の群衆が詰めかけ、ハイタッチしたり抱き合ったりして、スクランブル交差点は若者たちでごった返した。「このにぎわいがたまらない」。バナナを手を持ち、サルのかぶり物を着けた会社員石塚愛里さん(26)は「ここはなんだかワクワクする」。

騒動を防ぐため警視庁は、数百人態勢で警戒にあたった。それでも一部の若者が店舗によじ登ったり、爆竹を鳴らしたり。渋谷署幹部は「烏合の衆のような行動は警備が難しい」と頭を悩ませる。渋谷区や商店街も対策を検討しているという。

昨年10月末のハロウィーンでも交差点一帯は仮装した大勢の若者で混雑した。付近の商店街によると、2002年日韓サッカーW杯時から大規模なイベント時に交差点へ集まるようになったという。



大勢の人が行き交う渋谷駅前のスクランブル交差点。東京都渋谷区

## 45秒の青信号 2千人横断

警視庁によると、現在のスクランブル交差点は、73年に交差点の四隅の横断歩道に1本の斜め横断歩道が敷かれ、歩行者と自動車の交通が完全に分離された。渋谷センター商店街振興組合理事長の小野寿幸さん(75)は「70年代から駅周辺に若者向けの商業施設が軒を連ね、急増する通行人に対応するためだった」と見ている。

組合などによると、1日の通行量は最大30万人、45秒の青信号の間に2千人余りが行き交う。交差点を渡る群衆を撮影したり、自撮りしたりする外国人観光客は少なくない。

英国人で都内の高校教師、カドリン・バネッサさん(34)は週末、英国の友人を連れ交差点を背景に記念写真を取めた。「大勢の人が、ぶつからずに一斉に交差するのがおもしろい」とほほ笑む。

## ガイド本掲載 「展望席」も

海外で著名な旅行ガイド本「ロンリープラネット」には日本のお勧めの観光地の一つに「Shibuya Crossing」とあり、「世界で最も混み合う交差点」と紹介されている。交差点の近くの「渋谷エクセルホテル東急」では14年、5階のカフェラウンジを改装し、交差点を一望できる席を設けた。担当者は「スクランブル人気にあやかりました」。

外国人を中心に反響があります」と話す。交差点そばの商業ビルにあるコーヒードも、間近で交差点を望めるため連日、外国人旅行者らでにぎわっている。

渋谷エクセルホテル東急 5階  
カフェ エスタシオン



“エスタシオン”とはスペイン語で駅のこと。その名の通り、駅の真上にあるカフェです。

天井高約8メートルの開放感あふれる空間の中、渋谷駅前のスクランブル交差点を見下ろしながら、くつろぎのひとつときをお過ごしください。

コラムニストの泉麻人さんは「SNSの影響でスクランブルがショーの『舞台』になっている。サッカーW杯で警備にあたった『DJボリス』も魅力の一端になった。訪日外国人客の需要もあり単なる交差点ではなくなった」と見る。群集心理に詳しい東洋大学社会学部の戸梶亜紀彦教授(感情心理学)は、人は群衆で同じ行動をするとき、体感を抱き、気分が高揚しやすくなると指摘し、「愚者がアバウトになり、『赤信号みんなで渡れば怖くない』といった心理状態に陥りやすくなる」と話す。小野さんは「渋谷の『名所』は、安心して楽しめてこそなんです」。(池田良)

